令和8年度版

滋賀県 交通環境学習 ～未来のまちづくり交通教室～ の御紹介

子どもたちに身近な“交通”の素材を授業に活用してみませんか？








バス車両や授業資料を提供し、授業のお手伝いをします



ウェブページはこちらから

滋賀県　交通環境学習　検索

お申込みはこちらから

滋賀県 交通環境学習申込み　検索

【申込み・問合せ先】

滋賀県交通まちづくり部交通まちづくり政策課
（交通環境学習担当）
TEL　：077-528-3680　　FAX　：077-528-4837
MAIL：ra00@pref.shiga.lg.jp

【申込み締切】

実施希望日の**50日前**までです。
最終締切は以下のとおりです。

- ●バスを使用する体験授業　・・・ 令和8年7月31日（金）
- ●その他　・・・ 令和8年12月25日（金）

目　次

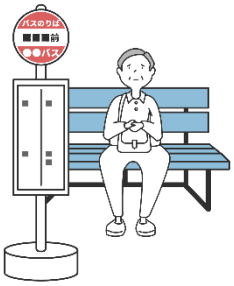
1. 交通環境学習について			P2
2. 交通環境学習の実施までの流れと留意事項			P3
3. 学習プログラムのメニュー・提供素材の見方			P5
4. 提供素材を活用した学習の事例の見方			P6
5. 過去の実績			P7
6. メニュー・提供素材			
座学	1	身の回りの公共交通	P9
	2	公共交通のマナー	P10
	3	バスの乗り方	P11
	4	電車の乗り方	P12
	5	鉄道すごろくゲーム	P13
	6	地域の公共交通の現状と問題	P15
	7	地域の交通の紹介、時刻表・路線図の読み方	P17
	8	環境と交通	P19
体験	1	バスの乗降体験	P21
	2	バスの車両観察	P22
	3	運転手へのインタビュー	P23
	4	バスの走行体験	P24
	5	電車の切符購入体験	P25
	6	鉄道事業者による体験授業	P26
	7	バスを活用したバリアフリー体験	P27
7. 提供素材を活用した学習の事例			P29
8. 申込みについて			
申込み方法・申込みシートの記入方法			P33
R8年度 交通環境学習　申込みシート （FAX用）			P34
R8年度 交通環境学習　申込み先　（しがネット受付サービス）			最終ページ

交通環境学習について

【交通をとりまく現状・問題】

自由に、快適に移動できる自家用車の普及に伴い、滋賀県では自家用車が移動手段の中心となっていますが、その一方で課題も生じています。





道路の渋滞、CO2排出量の増加、運動不足等に加えて、公共交通の利用者が大きく減少しています。子どもから高齢者を含む大人まで「バスに乗ったことがない」「乗り方がわからない」といった声も聞かれます。

利用者の減少に応じて、バスや電車の減便や廃線も生じていますが、このまま公共交通のサービスの低下が進めば、自家用車が利用できない人や、事情があって自家用車が利用できない時に、基本的な生活に支障が生じる懸念があります。そしてこのような状況は、急な用事や病気、けが、高齢化などにより、誰にでも起こる可能性があります。

そのため滋賀県では、県民の意識とライフスタイルを、自家用車中心から公共交通を中心とした「エコ交通」への転換を図る取組を積極的に展開しています。

【交通環境学習の目的】

取組の大きな柱の一つが、「幼少期から地域の公共交通に親しみを持ち、自発的にエコ交通を選択できる人間を育てる」ことを目的とした「交通環境学習」の実践と普及活動です。

次世代を担う子どもたちに、公共交通に親しみを持ってもらうことを通して、地域問題や環境問題に関心を持ってもらうことは、自発的に環境にやさしい交通行動を選択するきっかけになると考えています。

また、今後中学生、高校生と成長していく中で、バスや電車を活用する機会が多くなることを踏まえ、利用方法を勉強してもらい、役立ててもらいたいと考えています。

学校教育においては、地域社会の仕組みを学ぶための、身近で親しみやすい実物教材になると考えています。

【交通環境学習の活用方法】

各学年の生活科や社会科、総合的な学習の時間の単元に合わせた活用が可能です。

例）・公共施設の工夫やマナーの学習（バスの仕組みや工夫、乗車マナー等）
・福祉の学習（バスを活用したバリアフリー体験、バリアフリーの仕組みの学習等）

※他にも、環境問題やまちの広がりなど、人々の生活に不可欠な「交通」を通して様々な学習展開が可能です。本物や実体験を通して学習することで、より深い学びにも繋がると、先生方からも御好評を頂いています。

交通環境学習の実施までの流れと留意事項

実施までの流れ

本パンフレットで実施したい「学習プログラムのメニュー・提供素材」を選択

推奨

しがネット受付サービスにて申込

「申込みシート」に必要事項を
記入し、FAXで送信

日程調整（滋賀県交通まちづくり政策課が関係機関と調整します）

授業内容の打合せ（電話もしくは現地にて）

授業の実施

実施後、しがネット受付サービスにてアンケートに回答

留意事項

【交通環境学習全般について】

●座学1～4と体験5の授業については**「授業資料の提供」**に、座学5については**「教材の貸出」**となります。学校の先生で実施いただきますようお願いいたします。

※パワーポイントの資料にはセリフも記載しています。鉄道すごろくのゲームには「遊び方説明書」をお渡しします。ご安心ください。

●授業当日までに、各小学校から市町教育委員会へ交通環境学習の実施の連絡をお願いいたします。（連絡方法は問いません。）

※申込先は滋賀県交通まちづくり政策課です。

●近年交通環境学習の申込が多くあります。**実施可能数に限りがある（特にバスを用いる体験授業と鉄道事業者による体験授業）**ことを御理解いただくとともに早めのお申し込みをお願いいたします。どうしても日程調整がつかない場合は、実施時期や実施方法の変更をお願いすることがございますのでご了承ください。

●打合せについて、「過去に実施がある学校」や「授業資料の提供」の場合は原則電話で実施させていただきますが、バスを搬入する場合は、搬入経路の現地確認をさせていただく場合がございます。

●より良い交通素材の提供方法を検討していくとともに、活用事例の収集を行うため、実施後にアンケートの御協力をお願いいたします。

●授業資料などの準備のため、**実施希望日の50日前**までにお申し込みください。
最終申込み期限は**令和8年12月25日（金）**とさせていただきます。（バスを用いる体験は以下に記載のとおりの期限となります。）

【バスを用いる体験学習（体験1～4・7）について】

●バス事業者の繁忙期であることから、**10月・11月はお受けしておりません。**

●バスの手配の関係上、最終申込み期限を**令和8年7月31日（金）**とさせていただきます。

●各小学校での授業の進め方や事前・事後学習の内容、交通環境学習のめあて等に合わせて、当日の授業の進行を先生の主導で進めていただきますようお願いいたします。（主に授業の導入・まとめの時間）

※県・市町職員および交通事業者は必要なサポート、説明をさせていただきます。

【準備物について】

●座学に必要な電子黒板（orプロジェクター）やPC、体験学習に必要なコーン、アイマスク、車いす等は小学校にて御準備お願いいたします。

※データの提供（説明資料・ワークシート・模擬切符等）、バスの手配は県が行います。

学習プログラムのメニュー・提供素材の見方

学習プログラムのメニュー・提供素材をお選び頂き、お申込みください。
- ■ 対象学年・学校側の要望により、授業内容は柔軟に変更できます（要相談）。
- ■ １時間だけではなく、連続した時間での授業を行うことも可能です。
- ■ 授業実施だけでなく、素材の提供のみも可能ですので、実施形式を御確認ください。

①
座学 6

地域の公共交通の現状と問題

② 内容が特にマッチする学年・教科：6年生 総合的な学習

③ 実施形式：資料提供 or 出前授業

④ 必要時間：約45分

⑤ 素材：パワーポイント

⑥ 内容

■ 地域の公共交通の現状・問題と、それに対する行政の支援等（コミュニティバス・乗合タクシーの運行、利用促進の取組等）を紹介します。

ポイント

■ 暮らしに密接した公共交通の視点から考えることにより、地域の現状と将来のあり方を考えるとともに、政治の役割・働きについてイメージがしやすくなります。

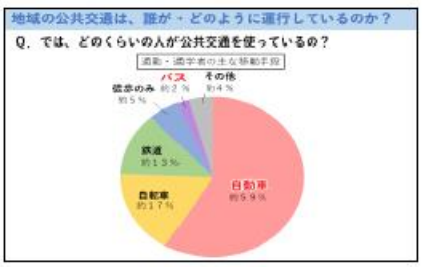
■ 行政担当者等から話を聞くことで地域で働く人の想い・考えを学ぶ、キャリア学習としても効果的です。

提供素材例

・地域の公共交通の現状と行政支援に関する資料
・地域の公共交通に関する資料（路線図、利用者推移等）













①メニュー番号
- ■ メニューの番号。座学と体験があります。
- ■ この番号を参考にお申し込みください。

②マッチする学年・教科
- ■ 内容が特にマッチする学年・教科です。
- ■ その他の学年・教科での活用も可能です。

③メニューの実施形式
- ■ 実施が可能な形式です。
- ■ 出前授業・体験サポート・資料提供・教材貸出があります。

④学習の必要時間
- ■ 実施に要するおおよその時間です。（1クラス）

⑤提供素材の形式
- ■ 提供する素材の形式（実車バス、パワーポイント等）です。

⑥メニュー・提供素材内容
- ■ メニュー・提供素材の特徴・内容です。

※それぞれのメニューについて「内容が特にマッチする学年」の記載をしておりますが、その他の学年を対象に実施することも可能ですので、御相談ください。

提供素材を活用した学習の事例の見方

- 実際に提供素材を活用して授業を実施した小学校の学習事例を御紹介します。
- 御紹介している事例のほか、メニュー・提供素材を活用・組み合わせることにより、様々な学年・単元での学習が可能です。（内容については要相談）

事例　実車のバスを活用した公共交通の学習
～身の回りの公[redacted]、マナー＋バスの乗り[redacted]～

① 2年生 生活科

② 必要な授業時間数	③ 必要な準備物	④ 必要な費用
2時間	パワーポイントが映写できる環境（電子黒板、PC等）	なし

⑤

連する単元	生活科「公共物や公共施設の利用」
教科目標 学習のねらい	■ 身近な地域にどのような乗り物があるかを知り、公共物や公共施設等はみんなで使うものと理解する。 ■ バスの乗り方を学び、愛着を持つ。

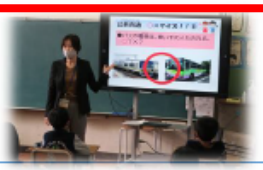
⑥ ポイント
- 実際のバス車両を用いて乗り方の勉強をすることで、より深い学習となります。
- 自家用車とバスの様々な違いを自分で発見できます。

⑦ 学習内容

座　学	■ （座学1）身の回りの公共交通 ■ （座学2）公共交通のマナー
体　験	■ （体験1）バスの乗降体験 ■ （体験2）バスの車両観察 ■ （体験3）運転手へのインタビュー

⑧ 授業の流れ

1時間目（座学）	■ 学校の周りの公共交通について（20分） ■ 公共交通のマナーについて（20分） ■ まとめ（5分） ※座学は学校の先生に実施いただきます。
2時間目（体験）	■ バスの乗り方の説明（5分） ■ バスの工夫紹介（5分） ■ バスの乗降体験（15分） ■ 車両観察（10分） ■ 運転手へのインタビュー・まとめ（10分）





⑨ 実施した学校の先生の感想
- 自分の住んでいる地域には、何の公共交通があるのかを知り、次おでかけするときはバスに乗りたいと話していた子もいた。校外学習の前にマナーについて学べたことが良かった。
- バスの乗車体験や車両観察など実際に自分の目で見て直接話を聞く体験は、座学で教えるよりも子どもたちの印象に残りやすく、授業にも積極的に取り組んでもらえた。

①実施した学年・教科
- 実際に提供素材を活用し学習を行った学年・教科が記載されています。

②必要な授業時間数
- 1クラスあたりの事例と同じ内容の学習をする場合に必要となる時間数です。

③必要な準備物
- 事例と同じ内容の学習をする場合に必要となる準備物です。

④必要な費用
- 事例と同じ内容の学習をする場合に必要となる費用です。

⑤学習の位置付け
- 実施した学習の単元の位置付け・ねらい等が記載されています。

⑥活用のポイント
- 提供素材を活用する際の効果・ポイントが記載されています。

⑦学習内容
- 学習に組み込んでいるメニュー・提供素材の組合せが記載されています。

⑧授業の流れ
- 実際に行われた授業の流れが記載されています。

⑨実施した先生の感想
- 実際に授業を行った学校の先生の感想が記載されています。

過去の実績

～ 過去の実績一覧 ～

年度	件数
H28年度	2市町　4校
H29年度	6市町　14校
H30年度	9市町　18校
R1年度	9市町　26校

年度	件数
R2年度	15市町　55校
R3年度	17市町　66校
R4年度	15市町　65校
R5年度	15市町　77校

年度	件数
R6年度	18市町　73校
R7年度	17市町　69校

～ R7年度の実施小学校・学年～

市町	小学校／幼稚園・保育園、（カッコ内は学年）	
大津市	13校	仰木小学校（1・2）、雄琴小学校（2・4）、中央小学校（2）、晴嵐小学校（2）、富士見小学校（2）、南郷小学校（2）、日吉台小学校（2）、瀬田北小学校（2）、真野北小学校（2）、青山小学校（2）、木戸小学校（2）、小松小学校（2）、小野小学校（1・2）
彦根市	10校	城東小学校（2）、城西小学校（2）、城北小学校（2）、旭森小学校（2）、鳥居本小学校（2）、河瀬小学校（2）高宮小学校（2）、城陽小学校（2）、稲枝西小学校（2）、若葉小学校（2）
長浜市	3校	北郷里小学校（3・特別支援学級）、びわ南小学校（2）、虎姫学園（2）
近江八幡市	4校	島小学校（2）、金田小学校（2）、武佐小学校（2）、安土小学校（2）
草津市	5校	笠縫小学校（2・4）、常盤小学校（2）、矢倉小学校（2）、南笠東小学校（3）、渋川小学校（2）
守山市	2校	守山小学校（2）、河西小学校（2）
栗東市	2校	葉山小学校（特別支援学級）、大宝東小学校（2・3年生、特別支援学級）
甲賀市	9校	伴谷小学校（4）、柏木小学校（2）、綾野小学校（2）、大野小学校（1・2）、土山小学校（1・2）、甲南第一小学校（2）、甲南第二小学校（2）、甲南第三小学校（4）、小原小学校（1・2）
野洲市	1校	篠原小学校（2）
湖南市	1校	岩根小学校（2）
東近江市	8校	御園小学校（2）、箕作小学校（2）、布引小学校（2）、市原小学校（2・3）、愛東南小学校（2）、蒲生東小学校（2）、蒲生西小学校（2）、能登川北小学校（2）
米原市	2校	伊吹小学校（2）、春照小学校（2）
日野町	4校	日野小学校（2）、南比都佐小学校（1・2）、必佐小学校（2）、桜谷小学校（1・2）
愛荘町	2校	秦荘東小学校（2）、愛知川東小学校（2）
豊郷町	1校	日栄小学校（2）
甲良町	1校	甲良東小学校（2）
多賀町	1校	多賀小学校（特別支援学級）
合計	**17市町　69校**	

※R6年度以前の実施校一覧は「滋賀県　交通環境学習」で検索、もしくはこちらから →

座学の
メニュー・提供素材



※座学と体験を組み合わせるとより効果的な学習ができます

座学 1	身の回りの公共交通

内容が特にマッチする学年・教科	2年生 生活科	実施形式	資料提供	必要時間	約15分	素　材	パワーポイント

内　容

- 普段乗っている「のりもの」から、滋賀県内の公共交通を写真や絵で紹介します。
- どのような方が利用されているかを学び、「誰でも使える大切な乗り物」として公共交通を学びます。
- 地域の公共交通について、紹介しながら学びます。

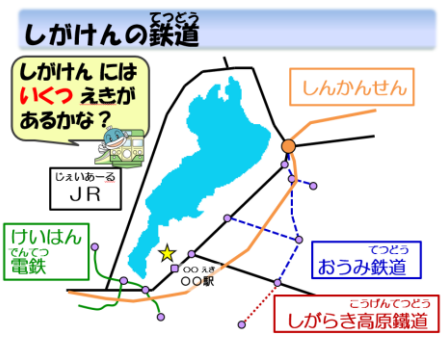
提供素材例

- 身の回りの公共交通に関する資料





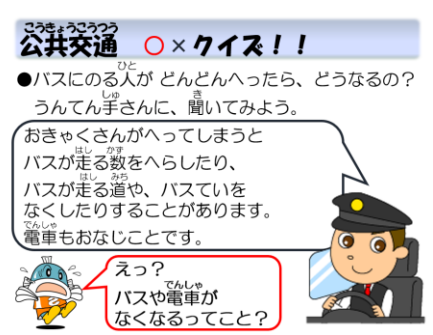


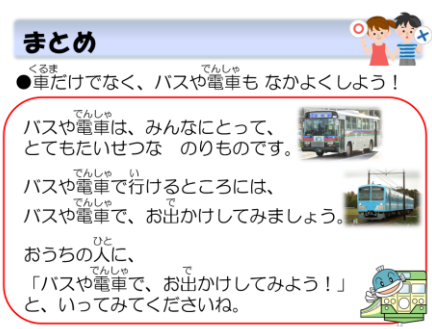












座学 2	公共交通のマナー

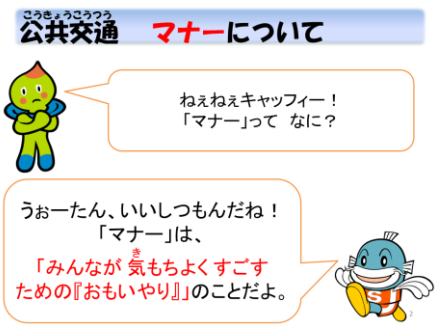
内容が特にマッチする学年・教科	2年生 生活科	実施形式	資料提供	必要時間	約15分	素　材	パワーポイント

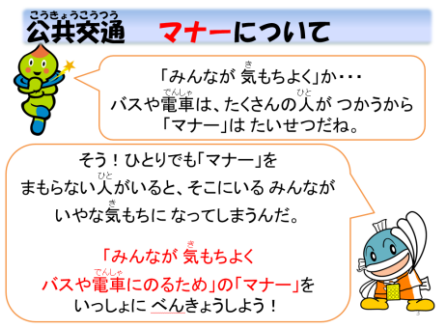
内　容

- ■　公共交通を利用する時のマナーについて、クイズをしながら学びます。
- ■　説明するだけではなく、子どもたちに考えてもらいながら学習を進めます。

提供素材例

■　公共交通のマナーに関する資料







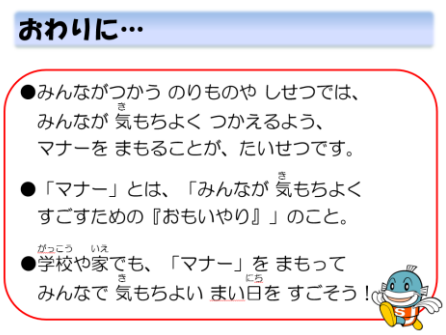












座学 3	バスの乗り方

内容が特にマッチする学年・教科	2年生 生活科	実施形式	資料提供	必要時間	約15分	素　材	パワーポイント

内　容

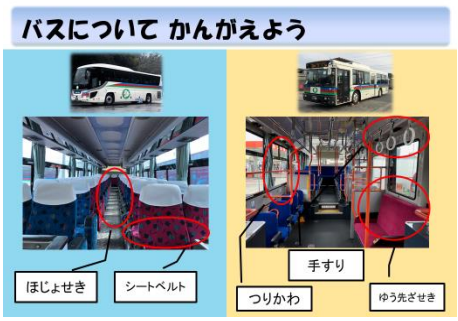
- ■　バスの乗り方について、パワーポイントを活用して学びます
- ■　乗合バスと観光バスの違い等を写真で確認しながら学びます。
- ■　安全な乗車方法についても、写真を見ながら学べます。

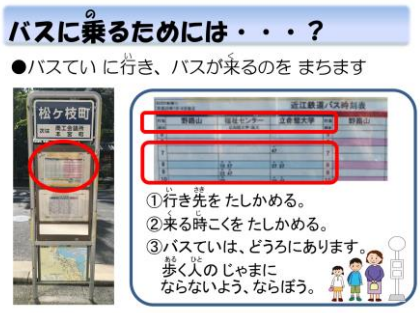
提供素材例

- ■　バスの乗り方に関する資料





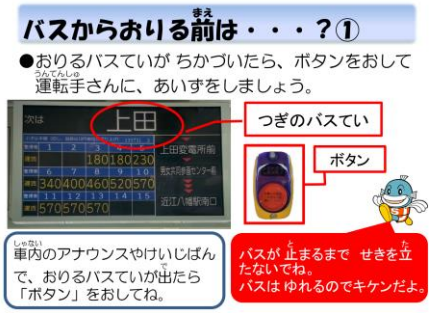


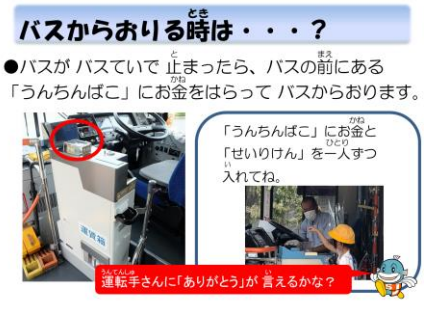












座学 4	電車の乗り方

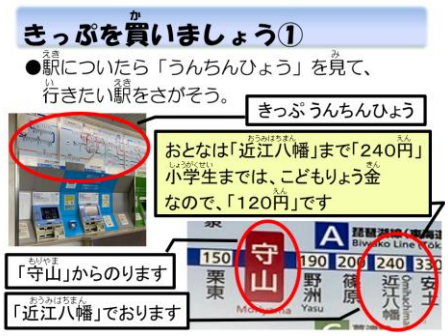
内容が特にマッチする学年・教科	2年生 生活科	実施形式	資料提供	必要時間	約20分	素　材	パワーポイント

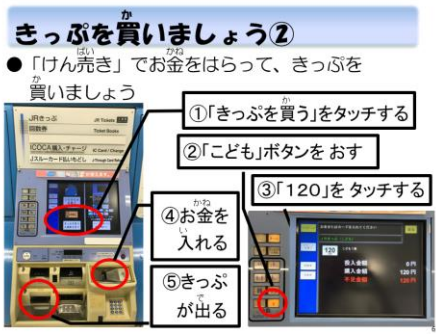
内　容

- ■ 電車の乗り方について、パワーポイントを活用して学びます。
- ■ 安全な乗車方法についても、写真を見ながら学べます。
- ■ 切符の購入体験（体験5）と組み合わせて学習すると効果的です。

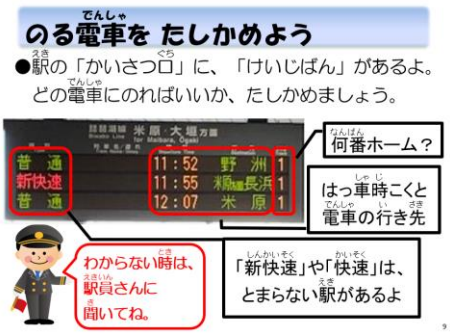
提供素材例（例：JR）

- ■ 切符の買い方、電車の乗り方に関する資料





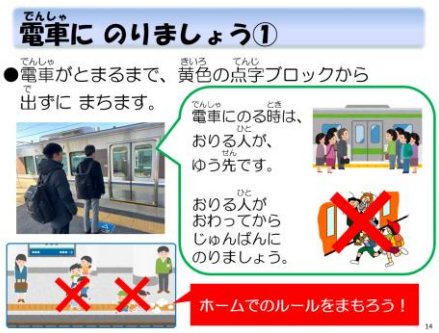














座学 5	鉄道すごろくゲーム

内容が特にマッチする学年・教科	4年生 社会科	実施形式	教材貸出	必要時間	約45分	素　材	すごろくセット

内　容

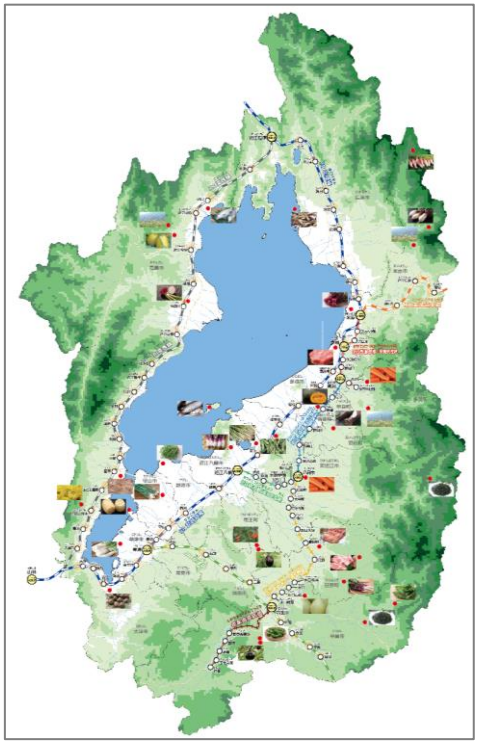
滋賀県内の鉄道路線図をすごろくとし、県内で実際につくられている食材を集めに鉄道駅を進んでいく、ゲーム型の素材です。

ポイント

- 体験を通じて交通の広がり（路線名や乗換駅等）や地域の特徴・特産品を学びます。
- 鉄道すごろくゲームで遊びながら、単元の理解を深めることができます。

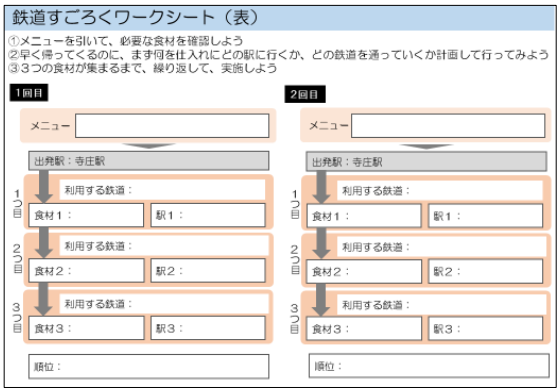
提供素材例

- 鉄道すごろくの遊び方に関する資料
- ワークシート









【ゲームの内容】

- 地産地消カフェの店員となり、ゲーム開始時に指定された料理に用いる食材を鉄道をつかって仕入れに行くゲームです。
- カードに書かれているヒントを見て、必要な食材が　どこにあるかを考えながら、鉄道を使って探しに行きます。
- 食材を集めてはやくスタート地点に戻ってきた人が勝利です。

授業の実施イメージ

【鉄道すごろくゲームの説明】 …５分

- ■ 鉄道すごろくの内容
- ■ 鉄道すごろくの準備、遊び方　等

【鉄道すごろくの実施　…40分　　1班４～６人程度

- ■ 自分が経由する駅がどこにあるのかをシートから探す
- ■ 鉄道すごろくを実施
- ■ 利用した駅や、食材の特徴（時期や主な産地等）をワークシートに記入

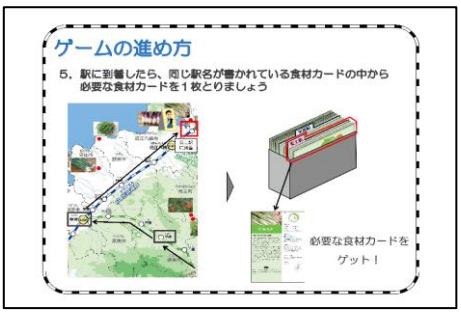
【まとめ】 …５分

- ■ すごろくをして気づいたことを発表
  （交通の広がり、地域の特徴、滋賀県の地形　など）

















実施した学校の先生の感想

- ■ すごろくにより意欲的に参加し、もっとやりたいという子どもが多くみられた。滋賀県の鉄道や特産物について学ぶことができ、教科書だけでは分からない滋賀の魅力に気付くことができた。
- ■ まだまだ地名や何駅があるのかを知らない子どもが多いため、楽しみながら地域の学習にもなった。

座学 6	地域の公共交通の現状と問題

内容が特にマッチする学年・教科	6年生 総合的な学習	実施形式	資料提供 or 出前授業	必要時間	約45分	素　材	パワーポイント

内　容

■　地域の公共交通の現状・問題と、それに対する行政の支援等（コミュニティバス・乗合タクシーの運行、利用促進の取組等）を紹介します。

ポイント

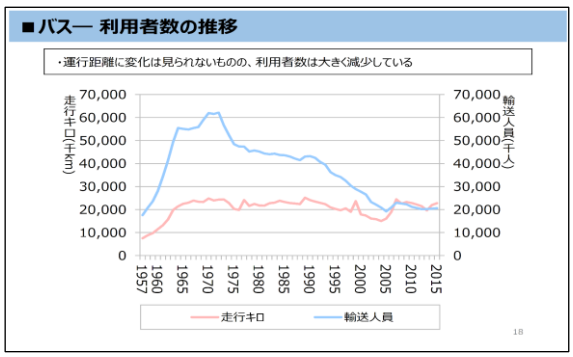
■　暮らしに密接した公共交通の視点から考えることにより、地域の現状と将来のあり方を考えるとともに、政治の役割・働きについてイメージがしやすくなります。

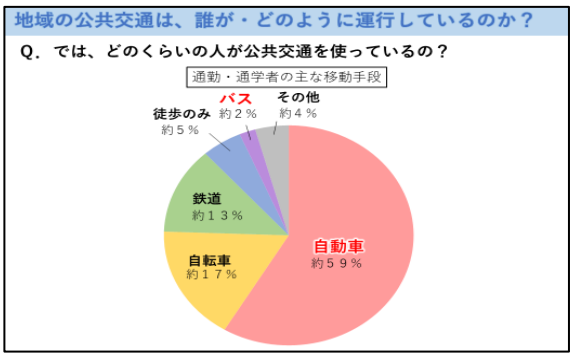
■　行政担当者等から話を聞くことで地域で働く人の想い・考えを学ぶ、キャリア学習としても効果的です。

提供素材例

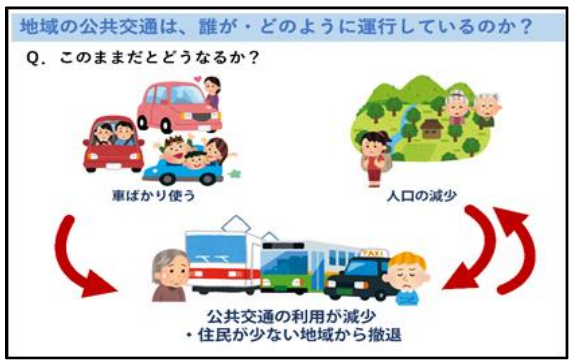
・地域の公共交通の現状と行政支援に関する資料
・地域の公共交通に関する資料（路線図、利用者推移等）













授業の実施イメージ

〇地域の公共交通の現状

問：地域の公共交通にはどんなものがあるのか、誰が運行しているのか？
→（公共交通の種類）鉄道、路線バス、乗合タクシー等
→（運行主体）●●鉄道、●●バス、●●市

問：地域の公共交通の問題点は？
→自家用車の利用増加、地域の人口が減少
→利用減少により、住民が少ない地域から撤退
→移動手段がなくなり日常生活に支障をきたす

問：地域の公共交通の役割は？なぜ守る必要があるのか？
→高齢者の外出支援、渋滞解消、交通事故抑制、CO2削減等

〇行政や事業者が実施している利用促進等

→小学校への授業、チラシ作成・配布、利用方法の説明会等

〇まとめ

地域の交通に関わる人の話を踏まえ、自分たちにもできることは何かあるか









実施した学校の先生の感想

- 滋賀県の交通環境について知り、公共交通は地域の人々にとって大切なものであり、守っていかないといけないと学んでいた。自分の見たことがある乗り物の紹介もあり、より自分事としてとらえていた。
- 働く人々の考えを知ることで自己の成長に生かせた。

座学 7	地域の交通の紹介、時刻表・路線図の読み方

内容が特にマッチする学年・教科	―	実施形式	資料提供 or 出前授業	必要時間	約45分	素　材	パワーポイント

内　容

■ 自分の住んでいる地域を支えている交通について紹介し、時刻表・路線図の読み方等について学習します。

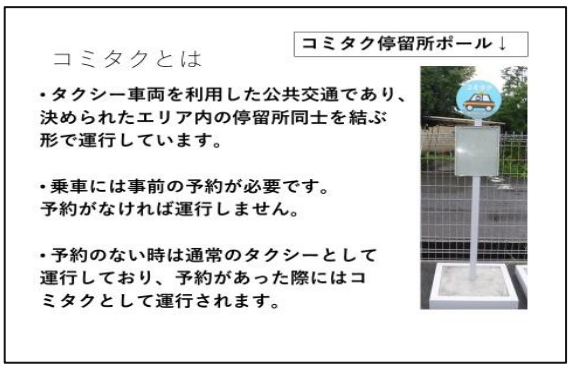
ポイント

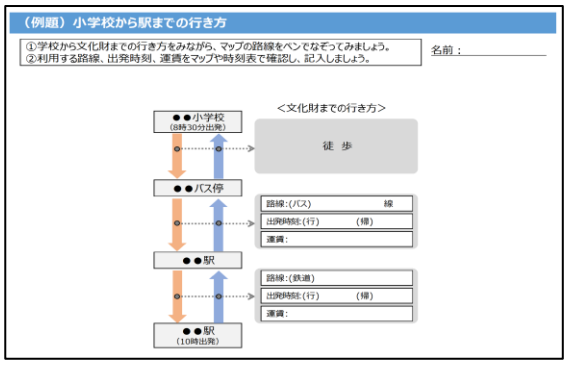
■ 地域を支えている公共交通の運行形態や利用方法等を学べます。
■ 公共交通を使って一人でも目的地にたどり着けるように、実際の時刻表等の読み方について学ぶため、校外学習で公共交通を利用する際の事前学習としても効果的です。

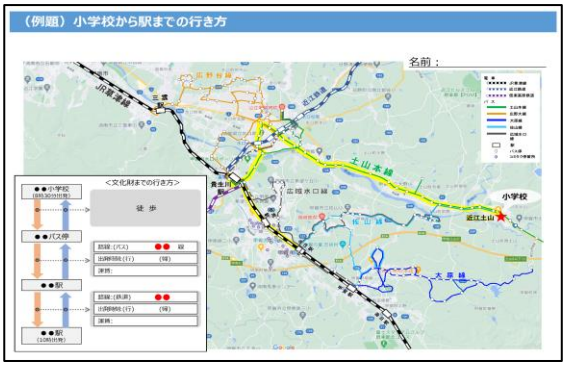
提供素材例

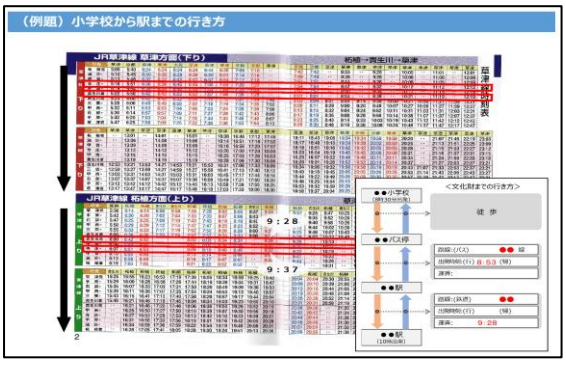
■ 地域の交通についての資料
■ 時刻表・路線図の読み方に関する資料

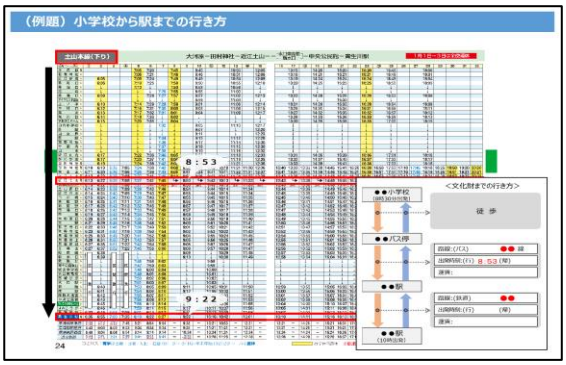












授業の実施イメージ

【事前学習】
公共交通の使い方（講座）
- 小学校の地域を運行する公共交通の紹介
- 時刻表の読み方を説明
- 利用方法を説明

目的地（例：文化財）までの行き方（計画をたてる）
- 利用する公共交通機関及び路線をマップで確認
- 公共交通の出発・到着時刻、必要な運賃を時刻表で確認

【校外学習】
調べたルート・時間のとおり公共交通を利用し、目的地まで行く。

※この授業では事前学習について、お手伝いします。







【ワークシートの一例】

ディスカバー●●
～バスに乗って●●の魅力、再発見！～

6年　名前（　　）

行きたい所　・・・
やりたい事　・・・ 見たい物
何分必要？　・・・

場所・バス停	時間	移動方法（歩き・バス○○線）
●●小学校	10：50	
↓		（　歩き　）
▲▲バス停	10：55発	
↓		（バス：　●●線　）
■■バス停	11：03着	
↓		（　歩き　）
目的地	11：05～12：25	
↓		（　歩き　）
■■バス停	12：28発	
↓		（バス：　●●線　）
▲▲バス停	12：36着	
↓		（　歩き　）
●●小学校	12：38	

実施した学校の先生の感想
- 地域の交通が何があるかを知り、利用方法もわかったことで利用していこうとする意識が出ていた。
- 時刻表の見方をわかりやすく教えていただき、目的地と予定時間からどの時間のバスに乗ればよいかを学び、有意義だった。自分の住む地域のことを学習する貴重な機会であり、実物素材を活用することで理解が深まった。

座学 8	環境と交通

内容が特にマッチする学年・教科	5年生社会科 6年生理科	実施形式	資料提供	必要時間	約15分	素　材	パワーポイント

内　容

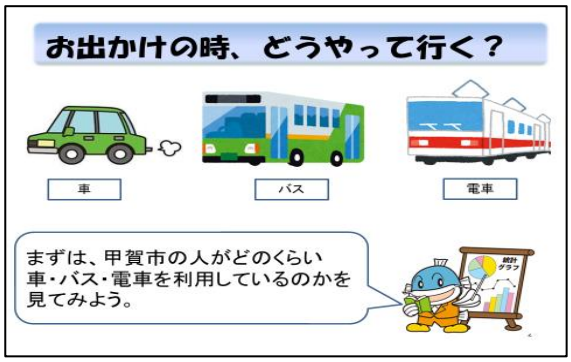
自分の身近な公共交通に触れながら、環境問題について学習します。

ポイント

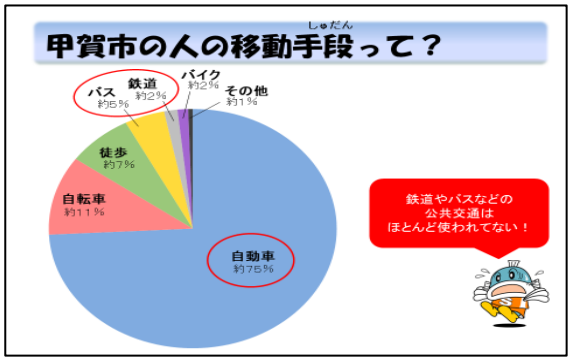
■ 自分が住んでいる地域の移動手段割合の比較や二酸化炭素の排出量の比較等、身近な乗り物で環境問題を学びながら、環境行動について自分にできることを考えることができます。

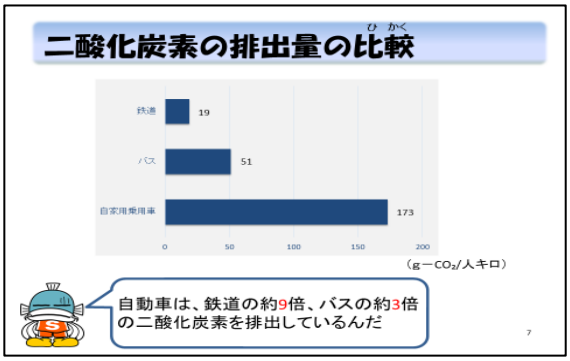
提供素材例

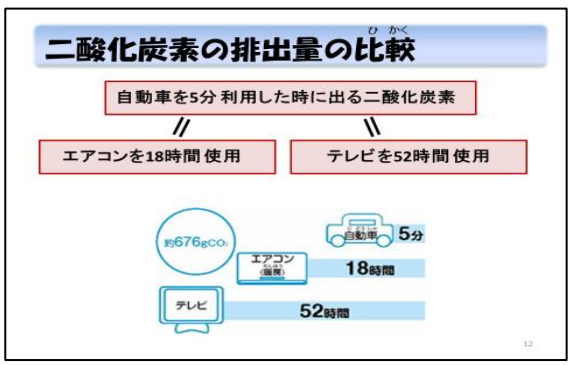
■ 地域の交通についての資料
■ 環境に関する資料（二酸化炭素の排出量等）

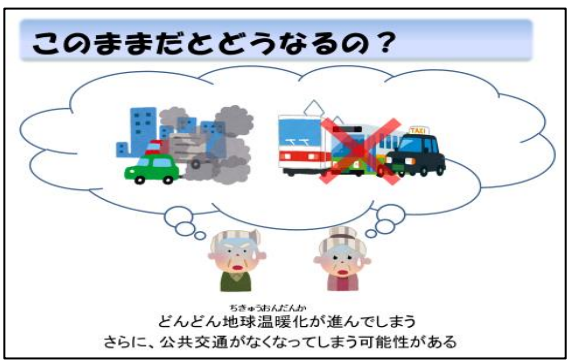












体験の
メニュー・提供素材



※座学と体験を組み合わせるとより効果的な学習ができます

体験 1	バスの乗降体験

内容が特にマッチする学年・教科	2年生 生活科	実施形式	体験サポート	必要時間 ※20人程度を想定	約20分	素　材	実車バス

実施内容

■ バスを小学校へお持ちし、乗降体験を行います。

■ バス事業者よりバスの乗り方について説明します。

■ 実際のバスを活用した学習であり、実践的な内容です。

※道路、校庭の状況等により、バスの持ち込みが出来ない場合があります。
（他の場所を借りていただいて実施することも可能です。）

実施例

■ バス事業者によるバスの乗り方の説明

■ バスの乗車体験

乗車→ 整理券を取る→座席に座る→料金表の見方や車内マナーの説明
→ 降車ボタンを押す→運賃を払う（お金券）→降車








体験 2	バスの車両観察

内容が特にマッチする学年・教科	2年生 生活科	実施形式	体験サポート	必要時間	約15分	素　材	実車バス

実施内容

- ■ バスを小学校へお持ちし、バス車両の観察を行います。
- ■ バス事業者よりバスのしくみについて説明します。
- ■ 普段は見られないところも見学できます。
- ■ 観察するためのワークシートの提供も行います。

※道路、校庭の状況等により、バスの持ち込みが出来ない場合があります。
（他の場所を借りていただいて実施することも可能です。）

実施例

- ■ バスのしくみ説明
- ■ バスの観察（車内外）











体験 3	運転手へのインタビュー

内容が特にマッチする学年・教科	2年生 生活科	実施形式	体験サポート	必要時間	適宜	素　材	実車 バス

実施内容

■ バスの運転手さんたちが直接子どもたちの疑問に答えます。
■ 「働くひとたち」の学習もできます。
■ 事前に質問票をいただければ、細かい質問にも対応可能です。

実施例

■ 運転手さんたちへのインタビュー
■ 職業に対するおはなし







体験 4	バスの走行体験

内容が特にマッチする学年・教科	2年生 生活科	実施形式	体験サポート	必要時間 ※20人程度を想定	約20分	素　材	実車 バス

実施内容

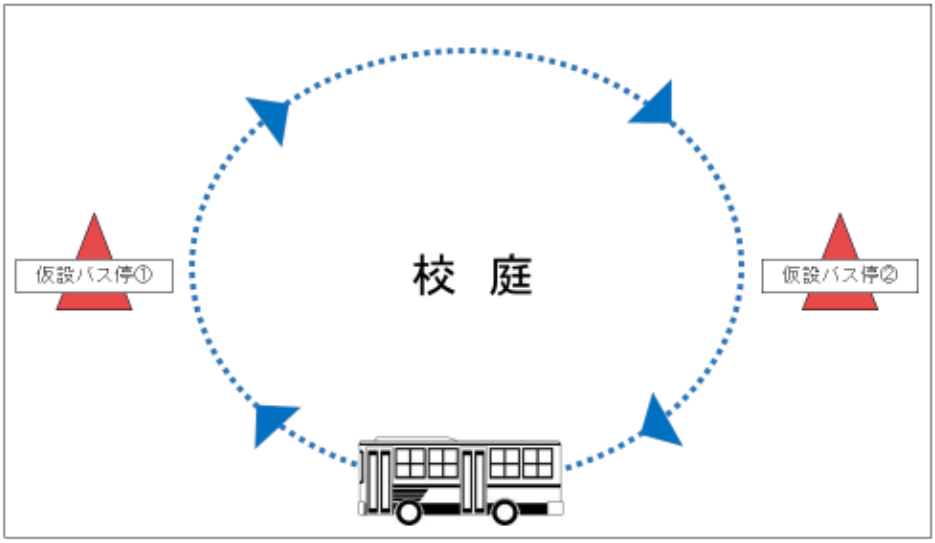
■ バスの乗降体験（体験1）の応用編として、校庭内にバス停を数個つくり、バスを走らせ、乗降してもらいます。

※道路、校庭の状況等により、バスの持ち込み・走行が出来ない場合があります。

※バスの乗降体験（体験1）とセットでの授業となります。

実施例

■ 2つの班に分かれる
■ 2班それぞれ別のバス停から乗車し、目的地のバス停で降車









体験 5	電車の切符購入体験

内容が特にマッチする学年・教科	2年生 生活科	実施形式	資料提供	必要時間	1人あたり 約30秒	素　材	模擬券売機（ポスター）

実施内容

- ■ 模擬の券売機（ポスター）を作成し、学校へ提供します。
- ■ １人１人切符の買い方を練習します。
- ■ 電車の乗り方（座学4）と組み合わせて学習すると効果的です。

提供素材例

- ■ 模擬券売機・模擬切符







体験 6	鉄道事業者による体験授業

内容が特にマッチする学年・教科	2年生 生活科	実施形式	体験サポート	必要時間	約45分	素　材	模擬券売機など

実施内容

- JR西日本や近江鉄道の社員さんから電車の乗り方・切符の買い方を学びます。
- １人１人、切符の買い方や運賃の支払い方を練習します。
- 練習時には、買い方・支払い方の説明・支援を行います。
- 模擬ホームで電車の待ち方や、模擬車両で乗車マナーを学びます。

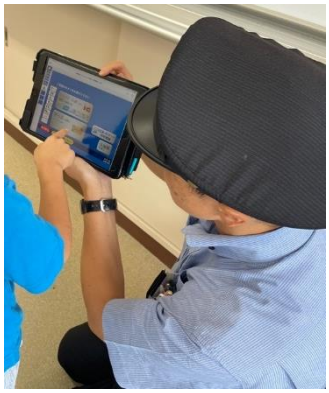
※実施内容は鉄道事業者と協議のうえ決定します。

実施例

- 切符の購入体験・駅の改札入場体験
- 電車の乗り方について









※鉄道事業者の実施可能な場合に限りますので、お受けできないこともございます。

体験 7	バスを活用したバリアフリー体験

内容が特にマッチする学年・教科	4年生 総合的な学習	実施形式	体験サポート	必要時間	約45分	素　材	実車バス

実施内容

■　バスを小学校へお持ちし、障害者の乗降体験を行います。
　例）　車いすを利用しての乗降体験
　　アイマスクを装着しての乗降体験
■　バス事業者より、車いす利用者が乗車される時の対応や、バスの工夫等について説明します。
■　バス車両の工夫点を観察することが出来ます。
■　体験学習で資料するワークシートの提供も行います。

※介助の仕方等については事前に学校で説明と練習をお願いいたします。
※体験学習に必要なアイマスクや車いす等は御準備をお願いいたします。
※時間配分の関係上全員が体験できない場合があります。

ポイント

■　実際のバス車両での体験から、普段の生活や移動で自分にできることを実感を持って理解できます。
■　すでに取り組まれているバリアフリーの配慮・工夫等から、社会の仕組みを実感することができます。

授業の流れ（例）

※導入、まとめは小学校にて実施願います。

導　入

障害者とともに生きることを考える
■（例）アイマスク等の使用、介助方法を学習する
■（例）バス車両の仕組みを予想する

体験学習（1時間）

導入授業を踏まえ、障害者の移動を実感する



まとめ

体験学習を通じて、自分にできることを考える
■（例）体験、観察を通して気付いたことを発表　（バスの工夫等）
■（例）公共交通はみんなにとって大切な移動手段であることに気付く

授業の実施イメージ

【事業者からの話】 …5分

- ■ バス車両の工夫について
- ■ 利用者からの声
- ■ 障害があるお客様への対応、気を付けてほしいこと　　等

【バス車両でのアイマスク体験】 （全員） …20分

- ■ ２人１組（体験者＋介助者）に分かれてアイマスクを着用
- ■ 各ペアが順番に乗車し、運賃支払・降車を順番に体験
- ■ ワークシートに体験の感想・気付いたこと等を記入

【バス車両での車いす体験】 （代表児童） …5分

- ■ 代表児童（体験者1人、介助者1人）による車いす体験
- ■ 感想を発表
- ■ ワークシートに体験の感想・気付いたこと等を記入

【車両観察、質問コーナー】 …15分

- ■ バス車両のバリアフリーの工夫や仕組みを観察
- ■ 観察時の疑問や全体を通した事業者への質問









実施した学校の先生の感想

- ■ アイマスクをしながら車両の狭い空間を行き来する体験は、介助の大切さを知る貴重な機会。大人も初めて知るような工夫が車両にはたくさんあり、子どもたちの発見につながる良い経験になった。
- ■ 実際にアイマスクをしてバスの乗り降りをすることで、身体の不自由な人に対する思いを持ったり、身の回りのバリアフリーに目を向けたりすることができていた。

提供素材を活用した学習の事例



ウェブページはこちらから

滋賀県 交通環境学習 検索

※本冊子に載っていない事例もございます。
　右の二次元コードを読み込んでいただき御参照ください。

事例	実車のバスを活用した公共交通の学習 ～身の回りの公共交通、マナー＋バスの乗り方 ver. ～	2年生 生活科

必要な授業時間数	必要な準備物	必要な費用
2時間	パワーポイントが映写できる環境（電子黒板、PC等）	なし

関連する単元	生活科「公共物や公共施設の利用」

教科目標 学習のねらい	■ 身近な地域にどのような乗り物があるかを知り、公共物や公共施設等はみんなで使うものと理解する。 ■ バスの乗り方を学び、愛着を持つ。

ポイント

■ 実際のバス車両を用いて乗り方の勉強をすることで、より深い学習となります。
■ 自家用車とバスの様々な違いを自分で発見できます。

学習内容

座　学	■ （座学1）身の回りの公共交通 ■ （座学2）公共交通のマナー
体　験	■ （体験1）バスの乗降体験 ■ （体験2）バスの車両観察 ■ （体験3）運転手へのインタビュー

授業の流れ

1時間目（座学）

■ 学校の周りの公共交通について（20分）
■ 公共交通のマナーについて（20分）
■ まとめ（5分）

※座学は学校の先生に実施いただきます。



2時間目（体験）

■ バスの乗り方の説明（5分）
■ バスの工夫紹介（5分）
■ バスの乗降体験（15分）
■ 車両観察（10分）
■ 運転手へのインタビュー・まとめ（10分）



実施した学校の先生の感想

■ 自分の住んでいる地域には、何の公共交通があるのかを知り、次おでかけするときはバスに乗りたいと話していた子もいた。校外学習の前にマナーについて学べたことが良かった。
■ バスの乗車体験や車両観察など実際に自分の目で見て直接話を聞く体験は、座学で教えるよりも子どもたちの印象に残りやすく、授業にも積極的に取り組んでもらえた。

事例	座学のみの公共交通の学習 ～バスの乗り方、電車の乗り方 ver. ～	2年生 生活科

必要な授業時間数	必要な準備物	必要な費用
2時間	パワーポイントが映写できる環境（電子黒板、PC等）	なし

関連する単元　生活科「公共物や公共施設の利用」

**教科目標
学習のねらい**

- 身近な地域にどのような乗り物があるかを知り、公共物や公共施設等はみんなで使うものと理解する。
- 身近な公共交通の乗り方を学ぶ。

ポイント

- 乗り方を写真を見ながら学んだり、模擬券売機で切符の購入を体験することで、より深い学習が出来ます。

学習内容

座　学

- （座学1）身の回りの公共交通
- （座学2）公共交通のマナー
- （座学3）バスの乗り方
- （座学4）電車の乗り方

体　験

- （体験5）電車の切符購入体験

授業の流れ

※学校の先生に実施いただきます。

1時間目（座学）

- 学校の周りの公共交通について（20分）
- バスの乗り方について（20分）
- まとめ（5分）



2時間目（座学＋体験）

- 電車の乗り方について（25分）
- 公共交通のマナー（15分）
- 電車の切符購入体験（5分）



実施した学校の先生の感想

- 模擬の券売機を用いた体験により、子どもたちが積極的に取り組んでくれ、校外学習当日にスムーズに電車に乗ることができた。
- 切符購入体験の掲示物を廊下に貼り出しておくと、何度も練習する児童がいて、効果的だった。
- 公共交通に愛着がわき、普段の生活の中でバスや電車に意識が向くようになった。途中途中にクイズがあり、最後まで楽しく話を聞いていた。

申込みについて



申込みについて

「しがネット受付サービス」からお申し込みください。（→最終ページへ）
学校・滋賀県交通まちづくり政策課双方に申込みの通知が届きますので、申込みの確認がとれることから、こちらでのお申込みがおすすめです。
※最終ページに検索方法・二次元コードがあります。

インターネット環境が整っていないなど、「しがネット受付サービス」の利用が難しい場合は、下記を参考に申込みシートをご記入の上、FAXでお申し込みください。
※申込みシートは次ページにあります。コピーして御使用ください。

R8年度 交通環境学習　申込みシート（FAX用）

学校名	○○　（市立）・町立　○○　小学校		
ご担当者	役職（担当学年）　2年	名前　○○ ○○	（ふりがな：　○○○　○○○） ①
ご連絡先	TEL：077-528-○○○○	Email：○○○○@pref.shiga.lg.jp	

実施対象	1年生　（2年生）　3年生　4年生 5年生　6年生　特別支援学級	58　名 2　クラス	
実施希望内容 申し込まれる番号に○をつけてください	②	内容	実施方法・留意事項
	座学	①家の回りの公共交通	資料提供
		②公共交通のマナー	
		③バスの乗り方	
		④電車の乗り方	
		⑤鉄道すごろくゲーム	③ 教材貸出
		⑥地域の公共交通の現状と問題	希望される方法に○をつけてください
		⑦地域の交通の紹介、時刻表・路線図の読み方	資料提供　or　出前授業
		⑧環境と交通	資料提供
	体験	①バスの乗降体験	10・11月はお受けできません
		②バスの車両観察	
		③運転手へのインタビュー	
		④バスの走行体験	
		⑤電車の切符購入体験	教材提供
		⑥鉄道事業者による体験授業	
		⑦バスを活用したバリアフリー体験	10・11月はお受けできません
座学4・体験5において教材に使用する駅		④ 大津駅～近江八幡駅	
実施希望時期	⑤ 第一希望	9月15日～9月19日　の間	
	第二希望	9月22日～9月26日　の間	
	第三希望	12月1日～12月5日　の間	
本学習のめあて あてはまるものすべてに○をつけてください	単元を深める　校外学習の事前学習　体験機会の創出 その他…具体的に（　　）		
その他 ご要望・ご不明点等	⑥ ・校舎の入り口が狭く、バスが入りづらいです ・車いす児童が1名います ・バス通学している児童がいます ・学校の最寄り駅は○○駅です ・授業データは9月初旬には送ってもらいたいです　等		
⑦ 留意事項	案内パンフレット4ページを必ずご確認ください。チェックをお願いします→　□ 確認しました		

①メールアドレス
授業資料や体験スケジュールをメールで送付しますので、外部から受信可能なアドレスを御記入ください。
※記入漏れが多いです。

②実施希望内容
実施を希望される番号に○をつけてください。

③実施方法の希望
座学6・7を申し込まれる場合は、希望される実施方法に○をつけてください。

④教材に使用する駅名
授業資料・提供教材作成時の参考にしますので、座学4・体験5を申し込まれる場合はご記入ください。

⑤実施希望時期
同時期の申込みが多くありますので、多くの候補日を挙げていただけますと幸いです。

⑥ご要望・ご不明点等
ご要望内容の他、校庭の状況や、授業実施にあたって参考となる情報を御記入いただけますと幸いです。

⑦留意事項
当冊子4ページをご確認いただいたうえでチェックを入れてください。

R8年度 交通環境学習　申込みシート（FAX用）

学校名	市立・町立　　小学校	
ご担当者	役職 （担当学年）	名前　　（ふりがな：　　）
ご連絡先	TEL：	Email：

実施対象	1年生　2年生　3年生　4年生 5年生　6年生　特別支援学級		名 クラス
実施希望内容 申し込まれる番号に〇をつけてください	内容		実施方法・留意事項
	座学	1 身の回りの公共交通 2 公共交通のマナー 3 バスの乗り方 4 電車の乗り方	資料提供
		5 鉄道すごろくゲーム	教材貸出
		6 地域の公共交通の現状と問題 7 地域の交通の紹介、時刻表・路線図の読み方	希望される方法に〇をつけてください 資料提供　or　出前授業
		8 環境と交通	資料提供
	体験	1 バスの乗降体験 2 バスの車両観察 3 運転手へのインタビュー 4 バスの走行体験	10・11月はお受けできません
		5 電車の切符購入体験	教材提供
		6 鉄道事業者による体験授業	
		7 バスを活用したバリアフリー体験	10・11月はお受けできません

座学4・体験5において教材に使用する駅	

実施希望時期	第一希望	
	第二希望	
	第三希望	

本学習のめあて あてはまるものすべてに〇をつけてください	単元を深める　校外学習の事前学習　体験機会の創出 その他…具体的に（　　）
その他 ご要望・ご不明点等	

留意事項	案内パンフレット4ページを必ずご確認ください。チェックをお願いします→　☐ 確認しました

お申込み先（滋賀県交通まちづくり部交通まちづくり政策課）　FAX（送付状不要）：077-528-4837

※お申込みいただきましたら確認のため1週間以内にご連絡いたします。

R8年度 交通環境学習　申込み（しがネット受付サービス）

【パソコンからの方】

「滋賀県交通環境学習申込み」で検索、もしくは下記URLからお申し込みください。

「滋賀県交通環境学習お申込み」URL
https://ttzk.graffer.jp/pref-shiga/smart-apply/apply-procedure-alias/r8kotsukankyougakushu-moshikomi

【タブレットからの方】

下記二次元コードを読み込んでお申し込みください。

【お申込み後について】

・入力いただいたメールアドレスに「仮受付」の完了メールが届きますので、必ず御確認ください。
・万が一メールが届かない、などございましたら滋賀県交通まちづくり政策課まで御連絡ください。
・メール内に帳票（申請の詳細）が表示できるURLの記載がございます。
そちらから帳票をダウンロード・印刷いただき、控えとして手元にお持ちください。